

通信研究会

〔委員長〕 森村 俊 (電力中央研究所)
〔副委員長〕 平田孝志 (関西大学)
〔幹事〕 宇津圭祐 (東海大学), 木村共孝 (同志社大学)
〔幹事補佐〕 伊藤友輔 (東京理科大学), 原田登志雅 (東京電力パワーグリッド)

日 時 令和3年11月18日 (木) 13:00 ~ 15:55
令和3年11月19日 (金) 10:00 ~ 15:35

場 所 北九州市立大学 小倉サテライトキャンパス / Web 開催

連 催 電子情報通信学会 光通信システム研究会
電子情報通信学会 光ファイバ応用技術研究会

共 催 映像情報メディア学会 放送技術研究会

議 題 放送システム, CATV, 放送素材伝送システム, 伝送路符号化, 情報源符号化, HDTV
および UHDTV, 放送通信連携, 光ファイバ配線敷設・保守運用技術, 光ファイバ特性
測定, 光ファイバ特性解析, 光ケーブル・光コード, 各種用途光ファイバ, 光増幅器・
光中継装置, 光/電気クロスコネクタ・OADM, 光/電気多重・分離, 光送受信機, 光
端局装置, デジタル信号処理・誤り訂正, 光通信計測, データコム用光通信機器, 光
変復調方式, デジタル信号処理アルゴリズム, コヒーレント光通信, 光増幅・中継技
術, 非線形・偏波技術, 空間・可視光伝送, 空間分割多重 (SDM) 伝送技術, 量子通信・
暗号化技術, 一般

11月18日 (木) 13:00~14:30 OCS1

CMN-21-053 [招待講演] 1Tbps スループット時代に向けた符号方式・設計技術
○小金井洋平 (富士通)

CMN-21-054 [特別招待講演] PPLN 導波路モジュールによる光パラメトリック増幅中継器を用
いた大容量・長距離 WDM 伝送
○小林孝行 (日本電信電話)

休憩 (10分)

11月18日 (木) 14:40~15:55 ITE-BCT

CMN-21-055 地上放送高度化に対応した高度化 STL/TTL 伝送方式の検討
○島崎智拓, 松崎敬文, 中川孝之 (日本放送協会)

CMN-21-056 U-SDI ジッタ発生装置の開発
○中村友洋, 大川裕司, 米内 淳, 瀧口吉郎 (日本放送協会)

CMN-21-057 フルスペック 8K 制作システムの相互接続性向上の取り組み

○中村友洋，大川裕司，米内 淳，瀧口吉郎（日本放送協会）

11月19日（金） 10:00～12:00 OFT

CMN-21-058 コヒーレント伝送システムにおける偏波・モード分散とインパルス応答広がりとの関係

○砂本英大，福永涼太郎，五十嵐浩司（大阪大学）

CMN-21-059 不均一ひずみモデルで計算されたブリルアンゲインスペクトルを用いたニューラルネットワークによるひずみ計測

○黒川貴矢，成枝秀介，成瀬 央（三重大学）

CMN-21-060 超簡素化 OADR の提案

○清住空樹，宮前知弥（横浜国立大学）
野田康平（東京工業大学／横浜国立大学），李 ひよん（芝浦工業大学）
中村健太郎（東京工業大学），水野洋輔（横浜国立大学）

CMN-21-061 [招待講演] コヒーレント自由空間光通信の近年の研究動向

○張 超（島根大学），宇山康太，張 哲元
セツト ジイヨン，山下真司（東京大学）

昼食（60分）

11月19日（金） 13:00～14:15 OCS2

CMN-21-062 前置増幅構成直接検波光伝送システムにおける軟判定誤り訂正符号のための高精度分布フィッティングに基づく対数尤度比計算

○五十嵐浩司，高橋拓海（大阪大学）

CMN-21-063 高分解能オフセット周波数補償アルゴリズムを用いた実時間4モード多重16QAM伝送実験

○別府翔平（KDDI総合研究所），菊田将弘（NECプラットフォームズ）
五十嵐浩司（大阪大学），向 啓志，嶋原正博（NECプラットフォームズ）
相馬大樹，高橋英憲，吉兼 昇，釣谷剛宏（KDDI総合研究所）

CMN-21-064 アナログ光ファイバ無線における自己位相変調による分散誘起フェージング補償に関する実験的検討

○奥主健人，カーリヤワサム アミラ，前田譲治（東京理科大学）

休憩（10分）

11月19日（金） 14:25～15:35 IEE-CMN

CMN-21-065 需要家向け給電電話の光ファイバ伝送化の検討

○小川 理（電力中央研究所）

CMN-21-066 [招待講演] 長距離・可変容量な水中光無線通信に適した変調方式の初期検討

○小玉崇宏（香川大学），井上文彰（大阪大学），木村共孝（同志社大学）

- ◎一般講演 発表 25 分 (質疑応答 5 分を含む)
- ◎招待講演 発表 45 分 (質疑応答 5 分を含む)